

JOC中学ハンド

中学ハンドボールの第31回JOCジュニアオリンピックカップ第3日は27日、徳島県で行われ、沖縄選抜男子は準々決勝で茨城を26-19で下したが、準決勝では東京

に31-35で惜敗して3位だった。沖縄選抜は4年ぶり8度目の頂点を、神森から選ばれた7人にとっては3月の全国選手権、8月の全国大会に続く県勢4年ぶりの“3冠”を狙ったが、届かなかった。沖縄選抜は準決勝の東京戦で、

後半1分過ぎまで18-13と5点差をつけてリードしたが、逆速攻など反撃を受けて中盤に追い付かれた。終盤は点の取り合いが続いたものの、最後に引き離された。

【男子】
▽準決勝

京 都	34	(14-18)	30	富 山
		(20-12)		
東 京	35	(13-16)	31	沖 縄
		(22-15)		
【女子】				
▽準決勝				
東 京	23	(13-6)	17	富 山
		(10-11)		
大 阪	32	(19-6)	20	熊 本
		(13-14)		

沖縄男子 悔しい3位

終盤に失速 粘り及ばず

焦点

全国頂点を目指した男子沖縄選抜の挑戦は、準決勝後半に逆転を許して、惜しくも3位で終わった。

堅い守備から前半は16-13とリードした。後半の入りも宮城政斗(神森)と外間優志(同)の連続得点で一時は5点差に広げた。しかし、その後は退場者も出て苦戦を強いられる。GK親富祖來汰(浦添)の好セーブなどで粘り、残り10分まで同点で競り合ったが、最後に突き放された。

新垣瑛太郎主将(神森)は目標の全国制覇に届かなかったものの登録16人全員が出場して「短い期間だったがチームが一つになれたことがうれしかった」と全国3位に胸を張った。

親富祖は「優勝を目指していたから3位は悔しい」としながらも「練習でチームの信頼関係が生まれ、ディフェンスとの連係で思い切りプレーできた」と語った。

190㍉の長身サウスポー赤嶺尚太郎(浦添)は準決勝で外間に次ぐ6得点で存在感を発揮した。「悔しい結果だが負けているときも一生懸命にプレーした。高校に向けて一歩前進できたと思う」と述べ、届かなかった全国頂点を来春以降に取りに行く意欲を見せた。

(溝井洋輔)

.....
全国3位の沖縄選抜男子(スポーツイベント提供)



沖縄ー東京 高いジャンプからシュートを放つ沖縄選抜の洲鎌花(中央)＝徳島県鳴門市・アミノパリュールホール(スポーツイベント提供)